

平成30年度事業計画書  
社会福祉法人昭島ひまわりの家（就労継続支援 B 型）

1. 利用者 定員 20 名

登録 35 名

2. 職員 常勤 1 名

非常勤職員 6 名

委託 1 名

（上記は全て平成 30 年 3 月 31 日時点）

3. 現況及び背景

平成 30 年 4 月 1 日に平成 30 年度障害福祉サービス等報酬改定が施工されることとなり、全体での改定率は+0.47%とされる中、本園が実施するサービスである就労継続支援 B 型では、継続、効率的、効果的にサービスの提供を行うための見直しと銘打って、工賃の支給額が多い事業所には報酬を高く、工賃の少ない事業所には報酬も少なくするという施策を実施することとなった。また利用者様の送迎を行うことで報酬に加算がされていた『送迎加算』についても、自動車維持費の低下等との理由から減額が決定した。

就労継続支援 B 型へ通うことが難しいとされた方が次に向かうところは生活介護施設となる。そういった意味では就労継続支援 B 型が担わなくてはならない役割はとて大きく、一般就労を目指して厳しく指導を行うことも求められれば、当園が実施するように就労は困難かもしれないが、決められた日に通い、皆とコミュニケーションを取りながら、自身の範囲で作業を行っていくことが重要であるとされる利用者や、それを求めてくる方はたくさんいる。

しかしながら今回の報酬改定は後者の存在意義を完全に否定したものであり、今後もこの流れが続いていけば当園の存続問題へと発展する大変大

きな改定内容である。

#### 4. 課題と取組み

##### ①利用者・保護者の高齢化

ひまわりの家の利用者は平成30年3月31日時点で19歳から79歳の方が通われ、平均年齢は50歳であるが、病気や怪我のために長期休養中の利用者は35名中7名にも上る。全ての方が年齢によるものという訳ではないが、今後も同様の割合で休養者が見込まれる。

高齢利用者の介護保険サービスへの移行や保護者の方の高齢化により、自宅での同居が難しくなった家庭の入所施設利用も進んでいる。

事業を継続していく上で実際に通う利用者数というのは重要であり、新規利用にも力を入れなくてはならないが、入所施設に関して、昭島市内の資源は非常に乏しく、利用には他市の施設を利用する方が大半を占めており、自宅から遠く離れたところへ送り出すことをためらう保護者は少なくない。

本園を利用されている方のためにも、現在行う就労継続支援B型のサービスだけでなく、グループホーム等ひまわりの家を利用されている方の要望に応じていくサービスの実現に向け、議論を重ねていく方針である。

##### ②事業所2階の改修

2階フロアの改修を終え、1階にあった事務所を2階へ移動したことにより、1階での作業に充てられるスペースが増え、作業フロアの整頓、資材の管理、作業スペースの確保など、作業環境に大きな好影響を与えている。

2階にはまだスペースがあり、2階でも利用者が作業を行えるよう、更なる改修計画を今年度で検討をしていく。

## 5. 施策項目

### (1) 利用者支援

- ①個別支援計画の作成
- ②作業援助
- ③生活支援
- ④支援作業内容

- ・受託作業（ダイレクトメール、シール貼り、箱折りなど）
- ・食品加工販売
- ・木工製品制作販売
- ・縫製製品制作販売
- ・その他（紙漉き、名刺印刷、年賀状作成など）

### (2) 運営・管理・衛生

#### ①諸会議の実施

運営や活動に関して、適宜及び必要に応じて以下の通り会議を実施する。

- ・理事会【役員】（年4回）
- ・定時評議員会【評議員及び役員】（年1回）
- ・人権擁護委員会【人権擁護委員】（年2回）
- ・定期職員会議【職員】（月1回）
- ・製品会議【職員】（月1回）
- ・事業計画会議【職員】（月1回）
- ・従事者連絡会議【職員】（毎日）

#### ②防災対策として避難訓練や防災知識教育の実施（年4回）

#### ③健康管理活動の実施

衛生面の指導を適宜行うとともに、以下の通り活動を行う。

- ・健康診断（年2回）

- ・腸管系病原菌検査（年 2 回）
- ・歯磨き推進運動への参加（年 1 回）
- ・心身のリフレッシュを目的とした娯楽活動（年 4 回）

## 6. 資金計画

平成 29 年度 5 月をもって借入金は全て償還された。資金面において 30 年度は 2 階作業スペース化、送迎車の整備、購入も検討課題としている。利用者の確保により安定した施設運営は出来ている状況にあるが、2 階改修後、通所者への作業場提供を計画化、推進するにあたり、資金面での対策としては更なる利用者の増員や経費削減などの工夫、努力することがより一層求められる。

## 7. 中長期計画

### ①利用者及び職員の確保

利用者支援におけるサービスの向上を図るため、正規職員、非正規職員の増員を図っている。今後長く良質なサービスを継続させていくためにも、利用者数を増やし、経営の安定化を図りたい。

### ②エレベーターの設置

2 階スペースで利用者が作業を行うためにはエレベーターの設置が必要であり、金銭面での設置補助が受けられる機関を当たる他、今後寄付金も募っていく。

### ③グループホームの検討

ひまわりの家の利用者のニーズに応じた就労継続支援 B 型以外のサービス、特にグループホームの需要が高いため、長期目標として建設を目指したい。